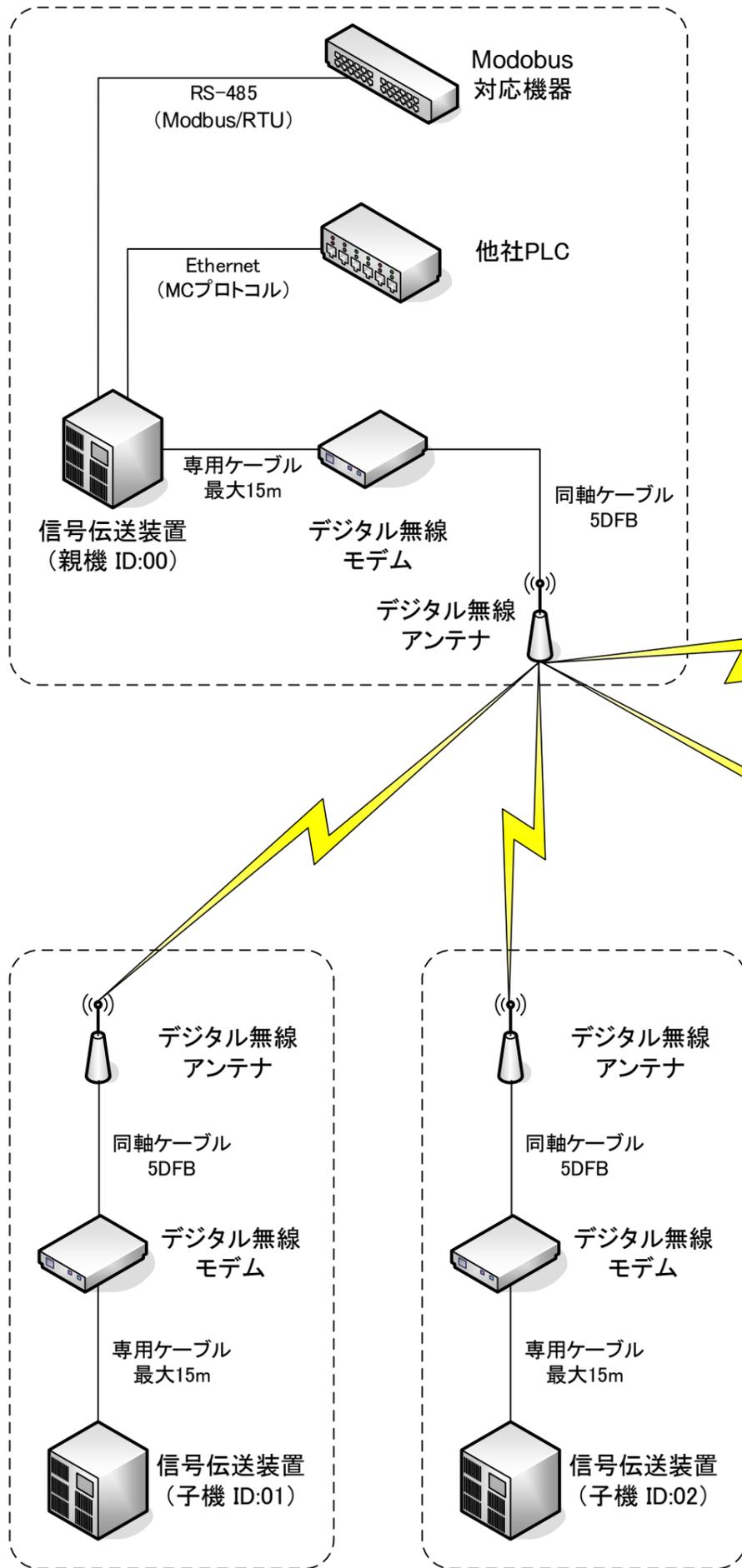


# デジタル無線 信号伝送装置 仕様・構成図



**●デジタル無線信号伝送装置とは？**  
 拠点間の通信には、一般的に専用回線テレメータが使用されています。しかし、高価な機器が多いことや、他社機器との接続性に課題がありました。また、専用回線のランニングコストや、回線経路の雷被害にお困りの自治体様からご相談を頂くことも多々ございます。そこで、上記について改善した「デジタル無線信号伝送装置」を開発致しました。デジタル無線を使用することにより、ランニングコストの大幅な削減及び回線経路の雷被害を防止するとともに、Modbus/RTUやMCプロトコルに対応し、他社製品との接続性も向上しております。従来のテレメータにお困りの際には、次世代を担う本装置を是非ご検討ください。

※電波法の改正により、アナログ簡易無線(400MHz帯)及び小エリア無線の使用期限が2022年11月30日までとなりました。これらの無線装置の更新についてもお相談をお受けしております。

- デジタル無線及び信号伝送装置の仕様**
- 無線種別: デジタル簡易無線  
3B免許局/3R登録局
  - 無線周波数: 467MHz/351MHz
  - 無線ch数: 65ch/30ch
  - 無線出力: 5W/2W/1W切替式
  - 通信拠点数: 32拠点(拡張可能)
  - 通信データ数: 64ワード/拠点(拡張可能)
  - 通信速度: 4800bps
  - 通信周期: 1秒~5分  
(拠点数及びデータ数による)
  - 通信距離: 見通しなし 5km程度(実績4km)  
見通しあり 10km程度(実績6km)
  - 1:n及びm:n(グループ間)通信に対応
  - 子局間通信及び無線中継通信に対応
  - Modbus機器及び他社PLCとの通信に対応
  - ラダーロジックを使用しての各種制御に対応
  - 各種I/Oを柔軟に組み合わせることが可能

- デジタル無線の申請費用及び電波利用料**
- 3B免許局(申請を行い免許取得)  
 申請費用: ① 開設時(書面申請)  
 出力1W: 3, 550円/1局  
 出力5W: 4, 250円/1局  
 ② 再免許(更新)  
 出力1W: 1, 950円/1局  
 出力5W: 3, 350円/1局  
 電波利用料: 年1回 400円×局数(台数)  
 有効期限: 5年(更新が必要)
  - 3R登録局  
 申請費用: ① 開設時  
 ・包括登録申請: 2, 900円  
 一括で登録(同一使用形態時)  
 ・個別登録(1台): 2, 300円  
 ② 再免許(更新)  
 ・包括登録: 1, 850円  
 一括で登録(同一使用形態時)  
 ・個別登録(1台): 1, 450円  
 電波利用料: 年1回  
 ・包括登録: 400円×局数(台数)  
 ・個別登録: 400円(1台)  
 有効期限: 5年(更新が必要)

各拠点のI/O構成例(最大64ワード)  
 A: DI/128点、DO/128点、AI/24ch、AO/24ch  
 B: DI/128点、DO/128点、AI/16ch、AO/16ch、PI/16ch  
 C: DI/256点、DO/256点、AI/16ch、AO/16ch